

# 五中・夢バトン

豊中市立第五中学校  
学校だより  
平成 29 年 (2017 年)  
7 月 20 日  
発行責任者：石井武

## 2017 夏、自ら歩む「道」を求めて・・・ サマーノートを活用しよう！！

いよいよ明日から 35 日間の夏休みが始まります。家族や親戚、友だちと楽しい思い出をつくったり、クラブ活動や趣味、習い事などで充実した時を過ごしたりとそれぞれが様々な計画を立てていることと思います。



さて、第五中学校では今年の夏休みから全学年共通のサマーノートを作成しました。学習面や生活面、クラブ活動等において、自らが計画をたて、実行し、検証することによって、自主的・主体的に行動する姿勢や目標に向かって計画的に進めていく力をつけていくことがねらいです。

### 道

道はじぶんで

つくる

道は自分で

ひらく

人のつくったものは

じぶんの道には

ならない

The road

You make your own road

You open up your own road

The one made by others

will not be your own road

まずは、どんな目標をたてるのか、その目標に向かって、何をいつまでにどのように実行していくのかを自分自身に問いかけ、それを言葉にしてみましょう。次にその目標実現に向けた道筋をイメージし、日々の努力と 35 日間の継続を大事にしていくことを心掛けましょう。イソップ童話の「アリとキリギリス」のお話のとおり、夏の努力は必ず、秋、冬に生きてくることを信じ、力をたくわえる夏にしてくれることを大いに期待しています。



あとじゃ

できねんだよ

なあ

いまのことは

いましかできぬ

You can't do it later

You can only do it now  
while you have now

今回の学校便りで紹介している“相田みつを”<sup>あいだ</sup>さんは、1924年に栃木県足利市に生まれ戦中・戦後に青春時代を過ごしました。難しい言葉を語らない独自のスタイルを確立し、詩集「にんげんだもの」など、人間としてのありよう、生き方、いのちの尊さを考えさせられる作品を数多く残し、1991年に亡くなりました。書の詩人、いのちの詩人などと評されています。今回は「道」に関する相田さんの詩をいくつか紹介しますので、ぜひ自分自身の気持ちと照らし合わせながら自分自身の心に問いかけてみてください。



やれなかった  
やらなかった  
どっちかな

I couldn't do it, or  
I just didn't do it  
I wonder which one

### エンジン

あのねえ  
自分に  
エンジンを  
かけるのは  
自分自身だ  
からね

Engine  
I want to tell you  
something  
The one who starts your  
engine  
is you, yourself

### 本気

なんでもいいからさ  
本気でやってごらん  
本気でやれば  
たのしいから  
本気でやれば  
つかれないから  
つかれても  
つかれが  
さわやかだから

Earnestly  
Anything is fine,  
just do it earnestly  
If you do it earnestly,  
you'll enjoy it  
If you do it earnestly,  
you won't tire  
And even if you get tired  
you will be pleasantly tired

出典：相田みつを著「本気」  
「ある日自分へ」「いのち～  
いちばん大切なもの～」  
文化出版局 より

毎日毎日の  
足跡が  
おのずから  
人生の答えを出す  
きれいな  
足跡には  
きれいな  
水がたまる

The footprints of each day  
naturally give  
the answer to life  
Clear footprints hold  
clear water



